



小郡市立大原中学校 令和8年8月27日 第9号

大原中学校だより

校長 末崎 謙次



【学校教育目標】自走と共生に必要な資質・能力を身につけた生徒の育成

夏休みの「挑戦」を力に変えて —— 元気に集った皆さんへ

長い夏休みが終わり、学校に皆さんの元気な声が戻ってきました。部活動に励んだ人、勉強にじっくり取り組んだ人、家の手伝いや地域の行事・ボランティアに参加した人など、それぞれにいろいろな経験があったことと思います。

夏休み前、私は皆さんに「自分の時間を自分で考えて使うこと（自走）」と、「家族や地域の人とのつながりを大切にすること（共生）」について話をしました。時間割のない夏休みだからこそ、自分で生活の予定を立てたり、家の手伝いをしたり、地域の行事に参加し、話をしたりする機会があったのではないのでしょうか。

夏休みに開催された大会やコンクールの結果

- 吹奏楽部・・・筑後地区中学生吹奏楽コンクール銀賞
- 男子バレーボール部・・・筑後地区大会 6 位→県大会出場
- 男子ソフトテニス部・・・筑後地区大会惜敗
- 陸上 3 年女子800m県大会出場・・・3年

小郡市・大刀洗町小・中学生英語スピーチ大会

8月4日（火）に小郡市文化会館で、「小郡市・大刀洗町小・中学生英語スピーチ大会」が開催されました。本校からは2年生1名、3年生5名が参加しました。それぞれが自分で考えたテーマについて、英語で思いを伝えました。緊張しながらも、声の大きさや発音、表情などを意識し、一人一人が堂々とスピーチをすることができました。英語で自分の考えを伝える経験を通して、自分の言葉で思いを表現する力をさらに伸ばすことができました。これまでの努力に拍手を送りたいと思います。



2年
「ハッピーポッターが英語の扉を開いてくれた」



3年
「私の猫達」



3年
「私と私のギター」



3年
「お別れ」



3年
「私が尊敬する人」



3年
「誰でも何にでもなれる」

「ジュニア研修会」ボランティア活動

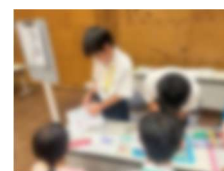
8月1日（土）に小郡市こども育成課主催の「ジュニア研修会」に男子バレーボール部のみなさんが参加しました。当日は高校生と一緒に福祉の仕事の説明をしたり、小学校の体験に寄り添って一緒に活動したり、明るくハキハキと活動していました。



【アイマスク・白杖体験】



【車椅子体験】



【点字で名前カード作り】

その他、地域の夏祭りの運営に携わった人などさまざまな体験をしたようです。

2 学期、みなさんに期待すること

2学期は、学年ごとにいろいろな活動があります。ブロック新人大会、職場体験学習、文化発表会、生徒会役員選挙など、それぞれの活動の中で、一人一人が自分の役割を果たすことが大切です。

学校行事では、結果や成果に目が向きがちです。しかし、本当に大切なのは、そこに向かってどのように取り組んだかという過程です。意見が合わないときに相手の考えに耳を傾けること。困っている仲間に手を差し伸べること。思うようにいかないときに、あきらめずに別の方法を考えること。そうした一つ一つの経験が、皆さんを成長させてくれます。

「自分で考える。そして、自分から動く。」その積み重ねが「自走」です。そして、自分のことだけでなく、仲間の考えや気持ちにも目を向け、支え合うことが「共生」です。2学期は、こうした力を実際の学校生活の中で身につけていく大切な時期です。

【1年生】中学校生活の土台と「先輩」になる準備

学校生活にも慣れ、少しずつ中学生らしい姿が見られるようになってきました。2学期は、いろいろな活動の中で、自分で考えて動くことを意識してください。分からないことや困ったことがあれば、そのままにせず、先生や友達に相談することも大切です。友達と助け合いながら、一つ一つの経験を大切にしていきましょう。来年度には、皆さんも先輩として後輩を迎えることになります。

【2年生】学校の「中心」・「顔」としてのリーダーシップ

ブロック新人大会、職場体験、生徒会役員選挙など、2学期は2年生が中心になって進める活動が増えてきます。3年生から受け継いだものを大切にしながら、「自分たちの学校を創る」という気持ちで動いてください。自分から声をかける、周りの様子を見て動く、必要なことを考えて行動する。そんな姿を少しずつ増やしていってほしいと思います。困ったときには声をかけ合い、みんなで力を合わせていしましょう。

【3年生】最高学年としての誇りと集大成

これまで学校の顔として、さまざまな場面で後輩たちを引っ張ってきた3年生。文化発表会など、これからの活動でも、3年生らしい姿を後輩たちに見せてください。そして、いよいよ自分の進路について考え、決めていく時期を迎えます。迷ったり悩んだりすることもあるでしょう。そんなときこそ仲間と支え合い、一日一日を大切に過ごしてください。卒業までの一日一日を、仲間とともに大切に積み重ねてほしいと思います。